

# 岐阜市 AR アプリ みずくる マニュアル

2026年3月6日

# 目次

岐阜市 AR アプリ みずくる .....	1
マニュアル .....	1
1. ホーム .....	3
アプリ起動 .....	3
2. 使い方や設定 .....	4
使い方 .....	4
3D ハザードマップ .....	5
QR コード .....	6
3. 機能 .....	7
浸水 AR .....	7
地図画面について .....	9
過去の浸水実績 .....	10
避難所の表示 .....	11
ハザードマップ .....	13
作図機能 .....	14
作図した経路(線)・地点(ポイント)の共有 .....	19

# 1. ホーム

## アプリ起動



アプリの起動後、トップ画面が表示されます。

※ 外国語には対応していません。

## 2. 使い方や設定

### 使い方

- ① トップ画面から使い方ボタンを押してください。画面の上部に AR、下部に現在地の地図が表示されます。



- ② 次へボタンや前へボタンを押して、みずくるの使い方を確認できます。



## 3D ハザードマップ

- ① トップ画面から3D ハザードマップボタンを押してください。



- ② 「岐阜市 3D 洪水ハザードマップ」がブラウザアプリで開きます。



## QRコード

- ① トップ画面から QR コードボタンを押してください。



- ② グループ ID 発行ボタンを押すと、新規の ID を作成することができます。



- ③ 「共有 QR コードの読込」ボタンを押すと、他のスマートフォンで発行した QR コードを読み込むことができ、そのグループに変更します。



### 3. 機能

#### 浸水 AR

- ① トップ画面から浸水 AR ボタンを押してください。画面の上部に AR、下部に現在地の地図が表示されます。



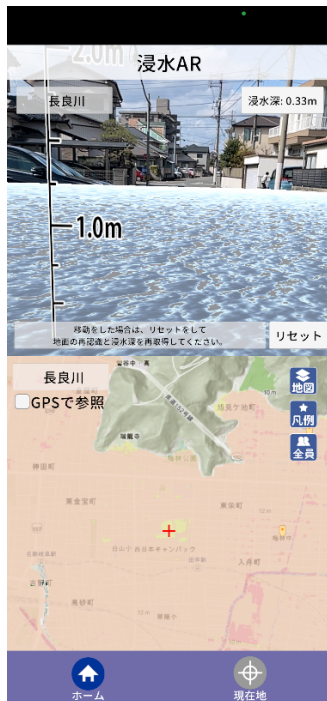
AR 画面

地図画面について(9 ページ)  
を参照ください。

- ② AR 画面で水玉模様(地面を認識した表示)が出てきたら、カメラ表示部をタップしてください。



- ③ 地図上の赤+印の場所の浸水の深さが、水面などで表示されます。



0～0.5m の場合



0.5m～3m の場合

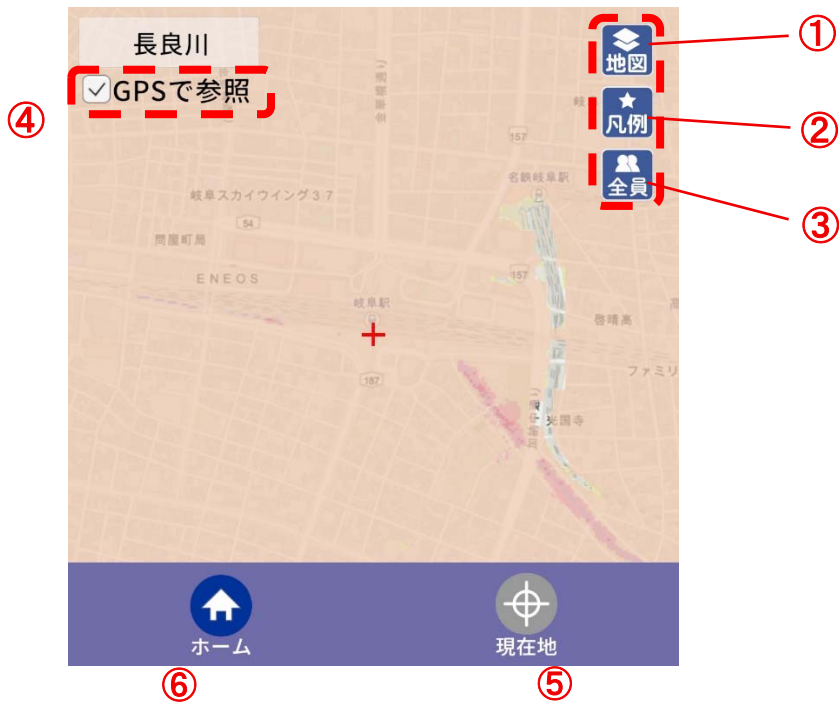


水中(目線下げて)の場合

- ④ 別の場所の AR 表示を見たい場合は、地図を移動して、リセットボタンを押し、再度水玉模様を表示させ押してください。




## 地図画面について

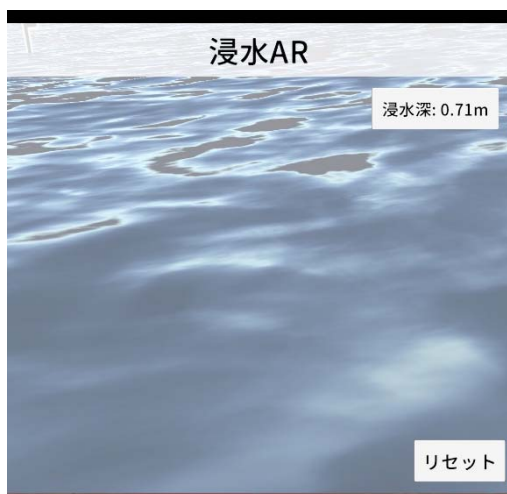


- ① 地図ボタンを押すと、背景地図を変更することができます。
- ② 凡例ボタンを押すと、地図内のハザードデータの凡例が表示されます。
- ③ 全員ボタンを押すと、全員・自分・非表示の順で、地図上に表示する登録データを切り替えることができます。
- ④ チェックを外すと、地図の位置のハザード情報を取得します。(チェックが入っていると地図を移動してもその場所のハザード情報は取得できません)
- ⑤ 現在地を押すと現在の位置に地図が移動します。
- ⑥ ホームを押すとトップ画面に戻ります。

## 過去の浸水実績



- ① 地図画面に配置されている  アイコンを選択すると、過去に浸水した時の記録が見られます。



- ② 情報が表示されている状態で地面認識(水玉を地面に表示させる)をして、タップすると過去の浸水深をARにて表示できます。

## 避難所の表示

- ① トップ画面から避難所の表示ボタンを押してください。画面の上部に AR、下部に現在地の地図が表示されます。



AR 画面

地図画面について(9 ページ)  
を参照ください。

- ② 上部の画面はカメラになっており、画面上の方角と実際の方角を、画面の横バーを操作して合わせます。北を向いた時に、N のマークが真正面に来るようにしてください。



③ 見たい避難所の種類を上部のプルダウンメニューから選び変更できます。



## ハザードマップ

- ① トップ画面からハザードマップボタンを押してください。



- ② 地図に重ねるハザード情報を上部プルダウンメニューから変更できます。
- ③ 地図を変更したい場合は地図ボタンから選択してください。
- ④ 凡例を確認したい場合は凡例ボタンを押してください。
- ⑤ 地図に重なっている作図した線は全員ボタンを押して、全員か、自分の作図した線を表示することができ、また、すべてを非表示にすることもできます。
- ⑥ うーたんボタンを押すとうーたんの表示・非表示ができます。

## 作図機能

- ① トップ画面から作図機能ボタンを押してください。



①



画面構成はハザードマップの画面(13ページ)と同様です。

ハザードマップとの違いは下部のメニュー欄の登録ボタンです。登録ボタンを押すと避難経路の登録(線)と、危険個所の登録(ポイント)を作図し登録することができます。また、自分が登録した線やポイントを削除することもできます。

## 【登録】

登録ボタンを押して「避難経路の登録」または「危険箇所の登録」ボタンを押してください。



### 避難経路の場合

- 地図上で経路(線)の1点目をダブルタップしてください。



- 2点目以降も、ダブルタップすると線が入力されていきます。



- 入力を終了して登録したい場合は、決定を押してください。(確認画面が表示されるので yes ボタンを押してください)



- 登録前にポイント削除を押すと入力したポイントが一つ戻ります。



- 登録しないで終了したい場合はキャンセルを押してください。



## 危険個所の場合

- 地図上で危険個所をダブルタップすると、危険個所名入力ダイアログが出るので入力してOKを押してください。



- 登録しないで終了したい場合はCANCELを押してください。

## 【削除】

自分が登録した避難経路または危険箇所を削除することができます。

- 登録ボタンを押して、登録データの削除を押してください。



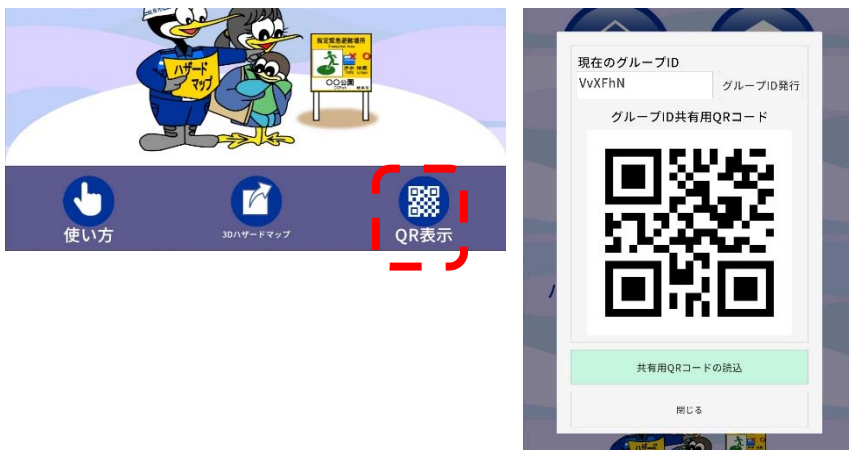
- 地図上の登録データをダブルタップすると、確認のダイアログが表示されるので、yes を選ぶと、削除されます。



## 作図した経路（線）・地点（ポイント）の共有

個人で作図した経路や地点を複数人で共有して画面に表示する事ができます。

① ホーム画面の「QR表示」を開きます。



② 1台グループのリーダー役となる方を決めます。

その他のグループメンバーは画面下部の「共有用 QR コードの読込」を押して、QR 読み込み準備をします。

- リーダー役の方の端末に表示されている QR コードを読み込みます。
- グループ ID の読み込みましたの表示がされましたら、YES を選択します。



- QR 表示の画面を閉じて、“浸水 AR”、“避難所の表示”、“ハザードマップ”、“作図機能”のどれかを選択すると、グループのメンバーが作図した線、点情報が表示されます。

各ユーザーは自動で割り振られた色で作図した線が表示されます。

